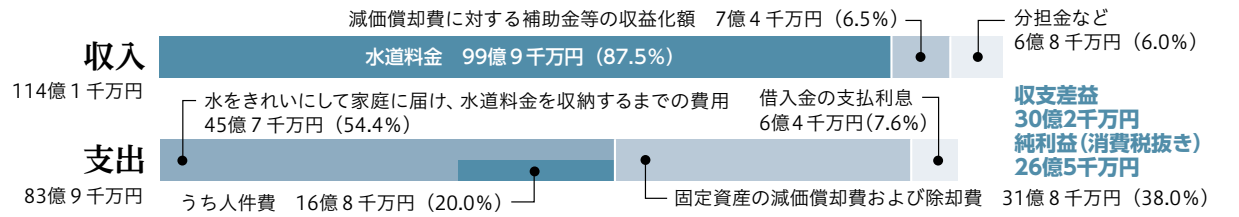
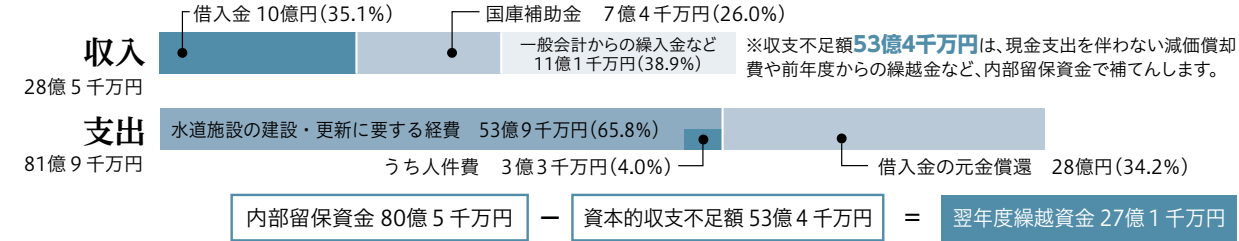


水道施設の維持管理など日常の事業活動に伴う収支（収益的収支）



水道施設の建設・更新などの投資にかかる収支（資本的収支）



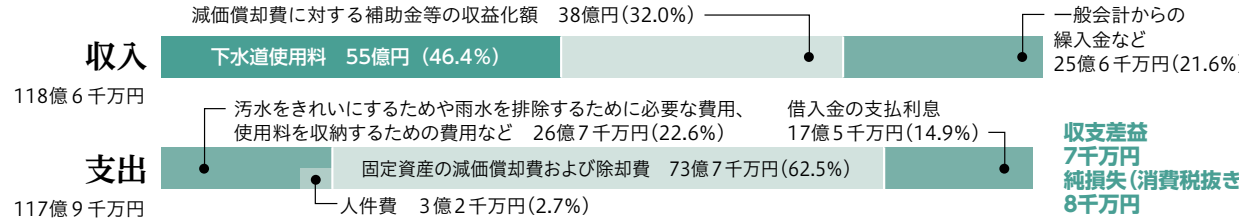
28年度の給水状況

給水人口…………… 468,699人 給水世帯…………… 213,244世帯 普及率…………… 97.95%

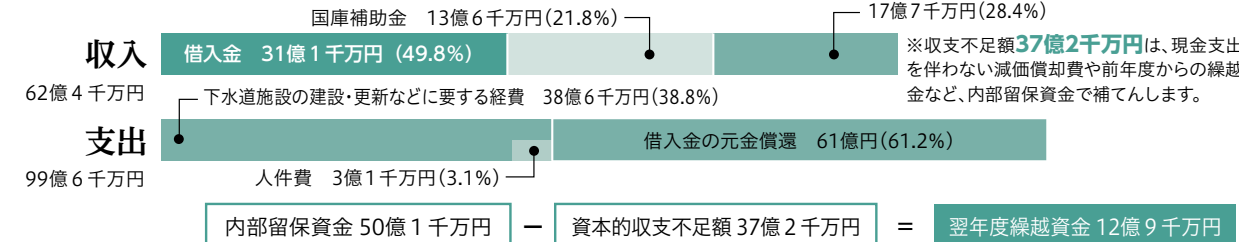
年間給水量…………… 50,731,245㎡ 1日最大給水量…………… 152,779㎡ 1人1日当たりの平均給水量…………… 297ℓ

水道局経営管理課 ☎538-2404

下水道施設の維持管理など日常活動に伴う収支（収益的収支）



下水道施設の建設・更新などの投資にかかる収支（資本的収支）



28年度の業務状況

処理区域内人口…………… 299,377人 処理区域内世帯…………… 137,361世帯 普及率…………… 62.6%

年間処理水量(※1)…………… 43,555,515㎡ 年間有収水量(※2)…………… 32,542,548㎡ 有収率(※3)…………… 74.7%

(※1)年間処理水量…処理した汚水の年間水量。
(※2)年間有収水量…年間処理水量のうち使用料徴収の対象となった年間水量。
(※3)有収率…処理した汚水のうち、使用料徴収の対象となる有収水の割合。有収率が高いほど、使用料徴収の対象とすることができない地下水や雨水などの不明水が少なく効率的。

下水道経営企画課 ☎537-5640

大分市の財政は、早期健全化基準・経営健全化基準をすべてクリアしています

各基準は「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づくものです。

■ 決算に係る健全化判断比率 (単位: %)				
指標	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
大分市	-	-	6.1	36.6
早期健全化基準	11.25	16.25	25.0	350.0

※ 表中「-」は、該当比率がない(赤字額がない)ことを示しています

■ 決算に係る資金不足比率 (単位: %)		
特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	-	20.0
公共下水道事業会計	-	
公設地方卸売市場事業特別会計	-	
農業集落排水事業特別会計	-	

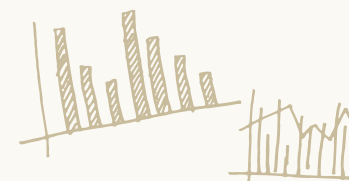
※ 表中「-」は、該当比率がない(資金不足額がない)ことを示しています

■ 指標の説明	
・実質赤字比率	一般会計などの赤字額の標準財政規模*に対する比率
・連結実質赤字比率	全会計の赤字額の標準財政規模に対する比率
・実質公債費比率	一般会計などの地方債の償還やこれに準じる支出額の標準財政規模を基本とした額に対する比率
・将来負担比率	一般会計などの地方債や将来支払っていく負担額の残高の標準財政規模を基本とした額に対する比率
・資金不足比率	公営企業ごとの資金不足額の、料金収入などの収益に相当する事業規模に対する比率

*標準財政規模…その地方公共団体の標準的な状態で通常収入が見込まれる一般財源の規模を示す指標

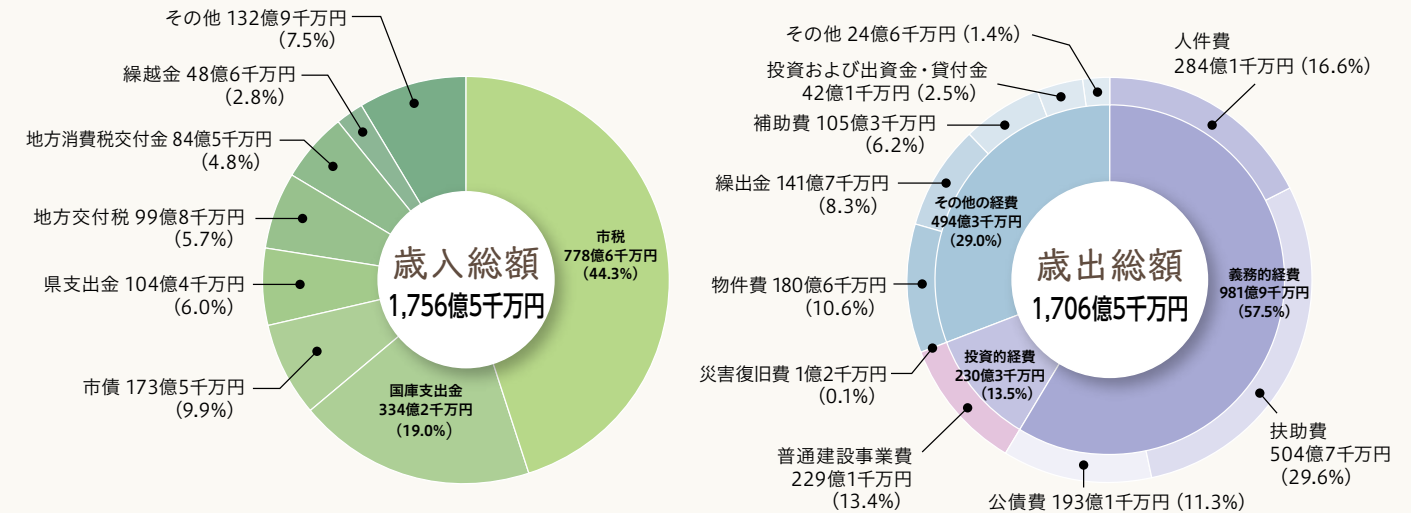
財政課 ☎537-5607

28年度 一般会計決算



29年第3回市議会定例会で、28年度大分市歳入歳出決算および水道事業会計決算、公共下水道事業会計決算が認定されましたので、その概要についてお知らせします。(数字は概数)

28年度 一般会計決算



目的別歳出金額と主な事業

- 議会費… 8億9千万円**
- 総務費… 144億4千万円**
 - 地域づくり交付金モデル事業
 - 豊予海峡ルート推進事業
 - 国際スポーツ誘致推進事業
 - 大分都市広域圏推進事業
- 民生費… 713億6千万円**
 - 保育所等運営事業
 - 障がい者自立支援費
 - 高齢者ワンコインバス事業
- 衛生費… 142億5千万円**
 - 水素エネルギー導入推進事業
 - 予防接種事業
 - 子ども医療費助成事業
- 労働費… 2億1千万円**
 - 高齢者と若年者などの就労推進
- 農林水産業費… 20億6千万円**
 - おおいた産品創出・魅力発信事業
 - 新たな担い手確保・育成支援事業
 - 有害鳥獣対策事業
- 民生費… 713億6千万円**
 - 保育所等運営事業
 - 障がい者自立支援費
 - 高齢者ワンコインバス事業
- 衛生費… 142億5千万円**
 - 水素エネルギー導入推進事業
 - 予防接種事業
 - 子ども医療費助成事業
- 労働費… 2億1千万円**
 - 高齢者と若年者などの就労推進
- 農林水産業費… 20億6千万円**
 - おおいた産品創出・魅力発信事業
 - 新たな担い手確保・育成支援事業
 - 有害鳥獣対策事業
- 消費費… 54億6千万円**
 - 被災者救援物資等備蓄事業
 - 同報系防災行政無線整備事業
 - 消防車輛購入事業
- 教育費… 191億6千万円**
 - 碩田中学校区新設校施設整備事業
 - 大友氏遺跡保存整備事業
 - 大分東部公民館 大会議室棟建設事業
- 土木費… 180億5千万円**
 - 大分駅周辺総合整備事業
 - 住環境整備事業
 - 公営住宅建設事業
- 災害復旧費… 1億2千万円**
- 公債費… 193億1千万円**

決算のポイント

45億4千万円の黒字決算	歳入は前年度に比べて59億8千万円(3.5%)の増加	歳出は前年度に比べて58億4千万円(3.5%)の増加
◎形式収支 50億円 1,756億5千万円(歳入)ー1,706億5千万円(歳出)	市税は、固定資産税が6億2千万円、市民税が6億3千万円増加したことなどにより、14億6千万円の増収となりました。	歳出を性質別に見ると、碩田学園の建設費などの普通建設事業費が58億3千万円、保育所等運営事業費などの扶助費が25億5千万円増加した一方、市有財産整備基金などの積立金が33億8千万円減少したことなどにより、歳出全体では58億4千万円の増加となりました。
◎実質収支 45億4千万円 50億円(形式収支の黒字)ー4億6千万円(翌年度へ繰り越すべき財源)	また、地方消費税交付金が8億6千万円、地方交付税が6億4千万円減少した一方、臨時福祉給付金給付事業などの国庫支出金が12億1千万円、29年4月に開校した碩田学園の建設などの市債発行が48億1千万円増加するなど、歳入全体では59億8千万円の増加となりました。	なお、人件費、扶助費、公債費を合計した義務的経費は、981億9千万円となり、13億5千万円増加しました。
◎地方債残高 28年度末現在で1,770億6千万円(前年度比2億円減) 市民1人当たりの地方債残高 37万円(前年度比1千円減)		

財政課 ☎537-5607